

TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の活動状況

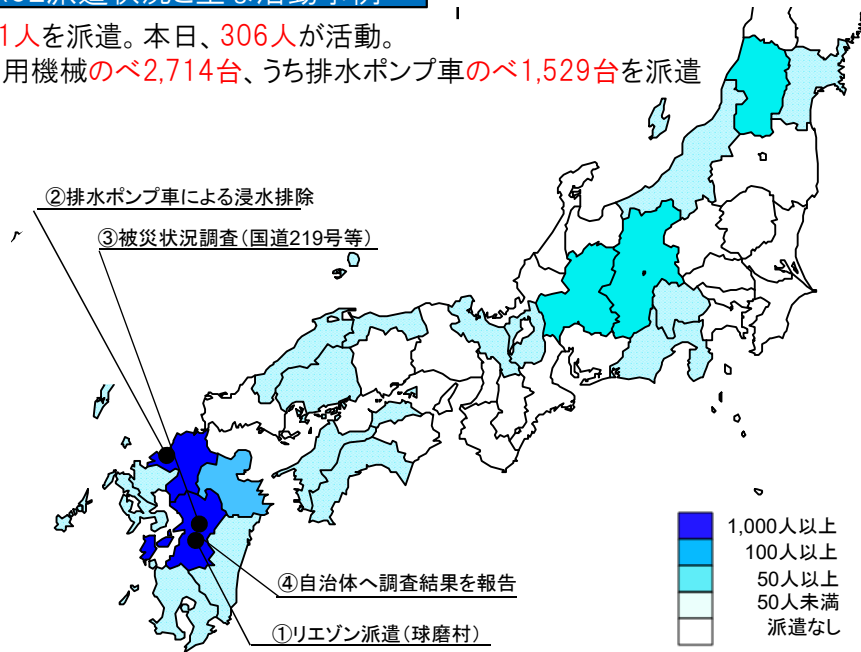
令和2年7月31日 8時時点

- 発災直後より全国の地方整備局等から、九州、中国、近畿、中部等22府県67市町村へ、のべ8,511人のTEC-FORCEを派遣。
リエゾン活動、被災状況調査、排水ポンプ車による浸水排除等の自治体支援を実施。(本日、306人派遣) ※被害報告件数は7月30日時点
- これまでに、9県21市町村で被災状況調査を行い、7月30日までに、1,623件の施設被害等を報告。激甚災害の早期指定に寄与。
- 市町村長への助言、被災状況収集等のため、リエゾンを15県41市町村へ派遣。テックフォースや災対機械の派遣調整等を実施。
- 甚大な被害を受けた国道219号をはじめ、自治体管理道路の被災状況調査に、のべ2,556人を投入。1,202件の施設被害を報告。
- 球磨川流域にのべ1,223人の隊員を投入。被害の大きい9支川(川内川、小川等)を中心に調査。324件の施設被害を報告。

TEC-FORCE派遣状況と主な活動事例

<令和2年7月31日時点>

のべ8,511人を派遣。本日、306人が活動。
災害対策用機械のべ2,714台、うち排水ポンプ車のべ1,529台を派遣



TEC-FORCE派遣内容別のべ派遣数および施設被害報告件数

派遣内容	のべ派遣数	被害報告件数
リエゾン、JETT(気象庁)	1,767	—
先遣班等	1,121	—
被災状況調査班	4,763	1,623
うち、河川	1,223	324
うち、砂防	649	97
うち、道路	2,556	1,202
応急対策班等	835	—
高度技術指導班	25	—
計	8,511	—

※被害報告件数は7月30日時点

①リエゾン派遣(球磨村)

村長へ災害対応を助言。庁舎が被災した球磨村へ災対本部車を派遣し本部運営を支援。



村長と対応方針を調整(熊本県球磨村)

②排水ポンプ車による浸水排除

球磨川、筑後川周辺等の浸水に対し、九州全体約50台体制で排水を実施(のべ1,529台)



排水活動状況(福岡県久留米市)

③被災状況調査(国道219号等)

球磨川本川および支川において14橋が流失。寸断した道路に分け入り、啓開方針を策定。



国道219号(熊本県球磨村)

④被災自治体へ調査結果を報告

被災自治体が被害額算定や査定設計書の作成に活用。早期の激甚指定にも寄与。



各首長へ調査結果報告